



## 答え合わせ・解説

問1	<b>答え 1</b> <b>木曾川</b>	中部地方の険しい山間部から流れ出るこの河川は、下流部に広大な濃尾平野を形成し、古くから農業や生活用水として利用されてきました。選択肢にある北上川は東北地方、黒部川は富山県、十勝川は北海道を流れる河川であり、流路や注ぐ海が異なります。
問2	<b>答え 1</b> <b>輪島塗</b>	石川県輪島市を中心に生産されている輪島塗は、国の伝統的工芸品に指定されている漆器です。石川県は北陸地方の産業の中心の一つであり、伝統産業が盛んな地域として知られています。他の選択肢のうち、会津塗は福島県、西陣織は京都府、南部鉄器は岩手県の伝統的工芸品です。
問3	<b>答え 1</b> <b>他の産地との競争を避け、需要が高まる時期に高い価格で販売するため</b>	夏の平地は気温が高すぎてレタスなどの生育に適しません。その時期に涼しい高原で栽培して出荷することで、市場に出回る量が少ない「品薄」の状態を狙い、有利な価格で取引することを目的としています。これを「抑制栽培」と呼びます。
問4	<b>答え 1</b> <b>標高が高い地域</b>	高冷地農業が成立する最大の要因は「標高」にあります。平地である豊橋市は夏に30度近い気温になりますが、標高1000mを超える地域にある嬭恋村では、夏でも平均気温が20度前後に保たれます。この涼しい気候こそが、冷涼な環境を好む野菜の栽培を可能にしています。
問5	<b>答え 1</b> <b>山地と河川に挟まれた平坦な土地が非常に限られているため、主要な交通路が密集せざるを得ないから。</b>	上野原市周辺のような中山間地域では、山地や河岸段丘の崖によって、大規模な開発が可能な平坦地が制限されています。そのため、かつての街道や現在の国道、そして鉄道（中央本線）などの交通網は、地形の制約を受けながら、崖と河川の間の狭い空間に集中して配置されるという特徴的な土地利用が見られます。
問6	<b>答え 1</b> <b>湿った北西の季節風が日本海を渡る際に水分を蓄え、県中央部を南北に走る飛騨山脈にぶつかることで雪を降らせる。</b>	富山県は日本海側の気候に属しています。冬になるとシベリア高気圧から吹き出す北西の季節風が、対馬海流（暖流）の影響で蒸気（水分）を蓄えた日本海を渡ってきます。この湿った空気が、飛騨山脈（北アルプス）などの高い山々にぶつかって上昇することで雲雲が発達し、山脈の西側にあたる地域に多くの雪を降らせませす。
問7	<b>答え 1</b> <b>時差のある世界各地からの便を柔軟に受け入れ、深夜や早朝の乗り継ぎ需要に対応するため</b>	国際的な拠点（ハブ空港）として機能するためには、世界各国の都市との時差を考慮したスケジュール設定が不可欠です。24時間運用が可能であれば、深夜や早朝であっても到着便から別の便へのスムーズな乗り継ぎが可能になり、国際的な競争力が高まります。
問8	<b>答え 1</b> <b>東海工業地域</b>	静岡県の太平洋沿岸に位置するこの地域は、浜松市のオートバイや楽器、富士市の製紙業など、独自の発展を遂げた都市が連なっているのが特徴です。中京工業地帯や京浜工業地帯といった大規模な工業地帯に挟まれながらも、輸送用機械をはじめとする多様な製造業が高いシェアを誇っています。
問9	<b>答え 1</b> <b>静岡県</b>	静岡県は、温暖な気候を利用した茶やみかん、温室野菜などの栽培が盛んで、農業産出額において高い数値を誇ります。これに加えて、駿河湾などの豊かな漁場や、焼津港といった全国有数の水揚げ量を誇る漁港を有しているため、漁業産出額も他県に比べて極めて大きいという特徴があります。